

「ここで子育てして
いいんだね」
と思えるまで…

こんどう よしゆき 近藤 能之

よつば保育園副園長、NPO 法人みんな共和国理事、小高やどりぎ。代表

昭和 41 年（1966）生まれ、南相馬出身。

大学卒業後は学習研究社（学研）に入社し教育の仕事に従事。

2008 年に帰郷し、保育園副園長として運営に携わる。

他に参画している NPO でも、高見公園の遊具設置や、クラウドファンディングにより「じゃぶじゃぶ池」を設置した。

震災直後の原発事故により、南相馬市原町区は“緊急時避難準備区域”という

“子どもは住まない方が望ましい”地域に指定され、

ここに住むか？他に移って住むか？は自己判断に委ねられました。

その中で、南相馬に住むことを選択した家族のために“子育ての安心感”創りが必要だと思いました。それは私だけでなく、親、保育園、地域、市外県外のボランティアの皆さん、メディアと一緒に動くことで気づき得られてきたものです。我々独自の子どもがいる家の除染活動について非難されることもありましたが、子どもの成長は待ってくれません。

目の前の子どもや家族のために動くだけで精いっぱいでした。

ただ待っていても何も変わりません。安心感は自ら動いてこそ創られるものです。

今は「小高やどりぎ。」で、動物たちとのふれあいやジップライン等の自然体験ができる居場所創りをしています。

“子育てに安心感を持てて、さらに楽しくなる”南相馬になるよう、これからも感謝の気持ちを持ちながら市民活動を続けていきたいと思います。

自分の選択が間違いでなかったと言えるように。



子どもたちに水遊びをさせたいという願いを実現した
「高見公園じゃぶじゃぶ池」